

議 事 録

会議名	平成29年度第2回さむかわ元気プラン推進委員会		
開催日時	平成29年10月23日（月）午後1時30分から午後2時30分		
開催場所	寒川町町民センター講義室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>出席：三浦委員、松永委員、小林（き）委員、竹田委員、庭野委員、中村委員、三輪委員、脇委員、一ノ瀬委員、稲葉委員、小林（篤）委員、齋藤委員、石井委員、横山委員、小島委員</p> <p>事務局：野崎健康子ども部長、亀井健康・スポーツ課長、筒井主査、長谷川主査、岩橋管理栄養士</p> <p>欠席：玉井委員、神部委員、田頭委員、落合委員、川部委員、三簾委員、宮崎委員</p> <p>傍聴者：なし</p>		
議 題	<p>（1）第3期計画素案について</p> <p>（2）その他</p>		
決定事項	・議事録承認委員の指名→小島委員、三浦委員		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p><次第1> 開会</p> <p><次第2> あいさつ</p> <p><次第3> 議事録承認委員の指名：事務局より、委員名簿順で名簿22番小島委員、名簿1番三浦委員を指名し、了承された。</p> <p>※事務局より、会議の公開及び会議録作成の為の録音について説明及び本日の傍聴希望者がいないことを報告。</p> <p>【事務局】 それでは、定刻となりましたので、ただいまより平成29年度第2回さむかわ元気プラン推進委員会を開催いたします。</p> <p>この会議は、寒川町審議会等の会議の公開等に関する規則に基づき、公開の対象となっておりますが、今回は傍聴の申し出はございませんでした。それから、議事録作成の為に、会議の様子を録音させていただきます。</p>		

ますので、ご了承ください。

お手元の次第に沿って進行してまいりますが、その前に資料の確認をお願いいたします。まずは、次第1枚、それから、さむかわ元気プラン推進委員会委員名簿、右肩に資料No. 1、さむかわ元気プラン第3期計画素案、冊子になってございます。それから、資料No. 2、さむかわ元気プランアンケート調査、A3の紙1枚、資料No. 3としまして、評価実績値比較表となっております。それから、何点かチラシを配布いたしました。不足がありましたら、お申し出ください。よろしいでしょうか。

それでは、次第の2、挨拶ということで、健康子ども部長野崎よりご挨拶を申し上げます。

【野崎健康子ども部長】 皆様、こんにちは。健康子ども部長の野崎でございます。昨日は選挙と台風が重なりまして、役場としましては、職員の確保に頭を悩ませた所でございます。そのような中、何とか台風も通り過ぎまして、久々の晴れ間が差す天気となりました。本日の会議の開催につきましても心配された所でございますが、皆様には、お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、日ごろより町民の健康増進にご支援、ご協力を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、台風につきましては、超大型の台風ということで、大変心配されたわけでございます。ここで、町の状況につきまして少し報告をさせていただきたいと思っております。昨夜、雨雲が流れていく中で、ちょうど寒川、茅ヶ崎あたりだけ、雲の切れ間があり想定どおり、雨が少ない状況でございましたが、一時的にかなりの雨量がありまして、道路冠水が町内の2カ所ほどございました。また、小動地区では停電がございまして、39軒ほど影響が出たという状況があります。

小出川と目久尻川は、増水していましたが、洪水を心配するような水位までには上がらないというような状況でございましたが、相模川につきましては、城山ダムのほうで、放流を続けていたため、かなり水位の高いような状況が続いておりました。また、神川橋の下の所にあります、川とのふれあい公園の野球場とサッカー場は、あと1メートルぐらいであふれる所まで上昇しておりました。銀河大橋の下の田端スポーツ公園は、私たちが記憶している中では一番水位が上昇しておりましたので、かなり心配された状況にありました。あとは、風が強かったので、最大瞬間風速31メートルぐらいの風を昨日記録してございましたが、全体としては、幸い大きな被害はなかったという状況となっております。

ます。

本日は、この後の元気プランの第3期プランの計画に関することが議題の中心となっております。日本は平均寿命と健康寿命の差が約10年あると言われておりまして、諸外国は、ある程度の先進的な所は5年から7年ぐらいの所が多いので、少し日本はこの差が大きくて、ここを縮めていくというのがとても大事なことと言われております。また、生活習慣病が病気の3分の1を占めると言われておりますので、個人の生活習慣を変えるというようなことは難しいですけど、その一助になるように、元気プランを作って進めていきたいと考えておりますので、皆様からのご意見等を計画策定に反映させたいので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

【事務局】 ありがとうございます。会議の途中ですけれども、野崎につきましては、この後、所用がございます。退席させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【野崎健康子ども部長】 皆さん、よろしくお願いいたします。

【事務局】 それでは、これ以降の会議の進行につきましては、松永委員長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】 皆様、こんにちは。本日も、指名いただきまして、石井副委員長と松永で進行役を務めさせていただきます。どうぞよろしくご協力をお願い申し上げます。

それでは、早速ですが、議事録の承認委員の指名が必要になりますので、事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局】 この会議は、寒川町審議会等の会議の公開に関する規則第2条に該当します。同規則第8条の規定によりまして、議事録を作成することとなっております。議事録承認委員の承認後、確定及び公表となりますので、よろしくお願いいたします。当委員会では、これまで名簿の順に2名ずつお願いしております。前回の議事録承認委員の2人目が、名簿20の横山委員でございました。本日、名簿21の宮崎委員ご欠席ですので、22番の小島委員、名簿1番の三浦委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

【委員長】 それでは、2名の方、よろしくお願いいたします。

ここから議事になりますが、先ほど事務局から、傍聴の方は、本日よりしゃらないということでしたので、次第の4、議題に入ります。

それでは、議題の(1)第3期計画の素案について。本日は、この第

3期計画の素案の内容がほとんどでありまして、大きく分けて3つの項目をご説明いただき、皆様のご意見、ご質問等がございましたら伺っていきたいと思います。

それでは、素案について、最初に事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】 第3期計画の素案についてということですが、計画の期間についてご説明したいと思います。

まず、資料の1、2ページをご覧ください。中ほどにあります、「本計画の予定されていた」という所ですが、本計画は、平成20年度から平成29年度の10年間で終了となる予定でございましたが、町の上位計画、寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」との整合性を図る為に、基本理念などを継承した形で計画期間を3年間延長し、13年間の計画とすることが、今年の10月の庁内の会議で承認されました。資料1の4ページのとおり、こちらの図ですが、一番上に寒川町総合計画「2020プラン」、その下にさむかわ元気プランがございます。太枠で囲っております部分が延長した所で、平成30年度から平成32年度までの3年間で、このたび第3期計画として策定することといたしました。

計画の期間については、以上でございます。

【委員長】 ただいま計画の延長について、ご報告をいただきました。皆様からご質問がございましたら、お伺いしたいと思います。ここについては、3年間延びたということで、平成32年度まで、第3期さむかわ元気プランを作成していく内容であったように思います。

続いて、次の説明を事務局から、第2期計画からの5年間で変わった内容をご説明いただけたらと思っております。

【事務局】 では、第2期計画が始まった平成25年度からの町の状況ですとか、計画にかかわる国の計画、政策などについての変化についてお話しさせていただきます。

資料1の16ページをご覧ください。町の人口の推移の表になっております。町の人口は、今年4月の時点で4万8,116人となっております。第2期計画を策定したときに参考にした平成23年4月の人口4万7,549人と比べて増加の傾向にあります。

17ページの年齢別の分布をご覧ください。少子高齢化が進み、老年人口が増えていることがわかります。65歳以上の人口割合が25.8%で、人口の4分の1を占めております。ちなみに、平成23年の4月のときには、老年人口が20.2%でございました。

資料1の23ページをご覧ください。国は、平成26年、日本人の食事摂取基準を策定し、生活習慣病の重症化予防が策定目的に加わり、エ

エネルギーの摂取量と消費量のバランス維持を示す指標として、BMIが採用されました。この表は、町のBMIについて表示してあります。痩せている方の割合がわずかに増えており、逆に肥満の方がわずかに減ってきているのがわかります。資料はつけてございませんが、健康づくり、疾病予防の取り組みとして、平成24年7月に国が策定しました健康日本21の第二次計画を受けまして、平成25年3月に策定された神奈川県のかながわ健康プラン21第2次計画で、健康寿命を延ばすということが掲げられております。平成25年の国民の健康で過ごすことのできる期間を示す健康寿命は、男性が71.19歳、女性が74.21歳、県民の健康寿命は、男性が70.90歳、女性が74.36歳です。ちなみに、町民の健康寿命は、平成26年度の時点で、男性が66.0歳、女性が67.1歳と、国、県と比較して短いことがわかりました。また、県の健康プランの中には、生活習慣の改善の促進、未病を治す取り組みが加えられており、県が独自の施策を展開してまいりましたが、今年の2月には、国の健康・医療戦略の中に未病の定義が盛り込まれたことにより、今後一層の注目がされることになりました。ちなみに、未病というのは、まだ病気にはなっていないが、放っておくと病気になる可能性のある状態のことを言います。健康寿命を延ばす為に欠かせないのが、生活習慣病の予防と重症化予防です。生活習慣病は、薬を飲んでも対症療法であり、原因を解決するものではない為、食を中心とした健康の保持、増進を図る取り組みが大切になっています。何不自由なく食事をする為には、自分の歯を20本以上保つことも重要で、歯や口の健康づくりも大切になってきております。神奈川県では、歯及び口腔の健康づくり推進計画を策定し、町ではそれを受けて、平成26年4月に寒川町歯及び口腔の健康づくり推進条例を策定いたしました。また、食に関する計画としては、平成28年3月に、国で第3次食育推進基本計画を策定。ここで、食が多様化する中で、家庭の食生活を、一過性ではなく、継続的に和食化し、和食文化を継承していくには、食習慣を形成、転換するきっかけのある世代の人たちをターゲットにした政策が必要とっております。そのほかに、高齢者の健康に関連して、ロコモティブシンドロームの認知度の割合の向上や、高齢者の虚弱、フレイル対策について、特に後期高齢者、75歳以上の方の低栄養の防止の推進、在宅医療の推進と、それに伴う、かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の積極的な活用などが含まれていることが、ここ5年間で変わってきたこととなっております。

では、続きまして、第2期計画の評価についてです。資料1の5ペー

ジへ戻っていただいてよろしいでしょうか。第2期計画は、ライフステージごとに設定した目標数値の到達度により評価しました。評価方法は、平成23年度のアンケートの結果と平成28年度のアンケートの結果及び目標値を比較し、評価ランクを「A 目標値に達した」、「B 目標値に達していないが改善傾向にある」、「C やや後退している（1～9%）」、「D 悪化している（10%以上）」の4分類としました。評価結果は、44項目のうち全体の59%が目標達成もしくは改善傾向、41%がやや後退もしくは悪化しているとなりました。ライフステージ別に見ると、悪化している項目は、幼年期の22時以降に就寝している割合、中年期の50歳代女性の肥満割合、同じく中年期の1日の飲酒量が1合未満の割合、高年期の地域活動に参加していない割合でした。少年期から壮年期は目標達成もしくは改善傾向が多く、おおむね取り組みの成果が出ていますが、中年期と高年期はやや後退や悪化の項目が多かった為、次の計画での指標、目標値などを見直す必要がある結果となりました。

6ページをご覧ください。ここからライフステージ別に進めてまいります。その前に資料2をご覧ください。資料2は、今回、28年度のアンケート結果が集計されております。2ページから12ページまでが小中学生の結果、13ページから36ページまでが15歳以上の結果となっています。14ページの⑤通勤（通学）先の所ですが、「いじれか1つに」となっていますが、「いずれか1つに」と修正をお願いします。また、15ページの⑦の枠の中にある「MBI数値に対する評価」となっていますが、こちらは、「BMI」に修正をお願いいたします。

では、資料1、6ページの幼年期の所ですが、ここでD評価となった、22時以降に就寝している子どもの割合が増えている背景として、親が共働きで、仕事からの帰りが遅いなど、親世代の就寝時間が遅くなっていることが考えられます。小中学生のアンケートでは、学年が上がるごとに、22時以降に寝る子どもが増える結果となっています。親世代が自分の睡眠を見直す為の支援をすることが課題となります。また、子どものスマホ、特に未就学児の利用は半数ということで、大学教授など専門家で作る、子ども達のインターネット利用について考える研究会という所が、ゼロ歳から6歳の未就学児を持つ保護者に対して行った調査では、約半数の子ども達がスマホを既に利用しているという結果もあります。また、ベネッセの調査では、スマホに毎日接している乳幼児の割合が約2割、4年前の前回調査に比べて2倍近くになっているという結果も出ております。これとは別に、3歳で虫歯がない人の割合がやや後退

しております。2歳児歯科健診事業が、平成28年度から始まっておりますので、これからの効果が期待できるので、この事業は継続して行ってまいります。

次に、同じく6ページの2の少年期です。ここでは、朝食の欠食率が後退傾向にあります。朝食を食べない要因として考えられることは、就寝時間が遅く、朝、起きられず、朝食を食べる時間がないという事が考えられます。また、アンケート結果で、親世代の欠食も多いことが影響していることも考えられます。

次に、7ページ、3の青年期です。20歳未満でたばこを吸っている割合ですが、1回目の推進委員会では、大きく後退したという結果をお知らせしましたが、再度結果を確認し、たばこを吸っているとの回答がなかった為、訂正させていただき、評価区分はAとなっております。ここでも、少年期と同じく、朝食の欠食率がやや後退している結果となっています。年代的に、進学や就職など生活の変化が要因の一つと考えられます。また、成長期である世代ですので、親世代への食育、そして子どもの頃からの食育を進めて行かなければいけないと考えております。

同じく7ページの4、壮年期の所です。こちらでは、年代的に自分の健康に関心を持ち、活動し始める世代と思います。食事バランスガイドを知っている割合以外は、目標を達成しております。

8ページ、5の中年期です。ここでは、50歳代の肥満の割合が増えています。外食の際にカロリーや栄養成分などに配慮しないでメニューを選ぶと答えた人が半数以上になっていることや、この世代の女性はホルモンバランスの変化が影響していることもありますが、子育てが一段落して、ゆとりが出てきて、外食に行ったり、バイキングへ行ったりというようなことで、少しカロリーオーバーになってきているのではないかと考えられます。このほかに、1日の飲酒量が1合未満の割合が悪化しています。生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合は、県の調査でも増える傾向にあります。定期的に健診を受ける割合は横ばいの傾向です。町のがん検診の受診率は、国の目標値である50%にはほど遠い状況であります。がん検診の機会は、町以外で実施する勤務先の人間ドックなども含めて利用できることから、今後も企業と連携を図って受診勧奨をする必要性があると考えます。また、健康診査やがん検診の結果は、自分の体の状況を知る上でとても参考になるものであることを周知するとともに、結果を継続して記録し、見える化をすることで、未病の状態を確認し、生活習慣病の改善や、定期的な受診につながる支援をして行くことが課題となります。

最後に、9ページ6の高年期です。食育、栄養の分野で、60歳代の肥満の割合が後退しており、中年期からの肥満傾向、食習慣の影響が考えられます。アンケート結果では、BMIが25以上で、痩せたいと思っても、実際の行動につながっていない事が伺えます。歯と口腔の健康の分野では、目標は達成していますが、実は自分の歯が何本あるかという項目のアンケート結果を見ると、20本未満の人が、中年期と比べて急激に増えている事がわかりました。これは、定期的に歯科検診や歯石の除去を受けていても、歯を失う原因となる歯周疾患の治療などを最後まで行っていないのではないかとこのようなことが推察されます。

【委員長】 ただいま第2期計画からの5年間で変わったこと、そして、第2期計画の評価、アンケートに基づいた評価等について、ご説明をいただきました。それぞれのお立場で、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

アンケートは、ほんとに身近なことで、私も時間のある限り見させていただいたんですけど、今、ご説明いただいて、ご指摘のあったC、Dという項目が、Dは少ないけれども、Cは結構あるよねと思いましたね。Dが10%以上、Cはたしか1～9ですから、結構な割合かなとも思いますけれども。

【委員】 竹田と申します。

細かに分析されていまして、資料も非常にわかりやすいと思いました。アンケートの対象者の数ですが、7歳から14歳は1,506名の対象者、15歳以上は1,297名ですね。

特に回収率と対象者の数ですけれども、15歳以上の1,297というのはちょっと少ないのではないかなということで、アンケートのとり方、配布の仕方等々に、もう少し工夫が必要かと思います。回収率も非常に悪い。31%ということで、これらの分析の結果が、この資料だと思うのですが、もう少しきめ細やかなやり方を次回にご検討いただきたいと思います。

【委員長】 この点は、進行の私も同感で、今、竹田委員のご意見に同感と思われる方、手を挙げていただけませんか。結構いらっしゃるとい感じ。この15歳以上の409人、結果的に今回のベースの資料になっていますけれども、やはりおっしゃるとおりかなという気がいたします。

【事務局】 ご説明させていただきます。

【委員長】 お願いいたします。

【事務局】 前回の計画で、見直しの為のアンケートをやった時が、

年代別にランダムに抽出して、均等に各年代集まるように、全て郵送で行いました。今回、町が湘南子育てナンバーワンを目指すということで、町長のほうから、子どもに関するアンケートを厚くしなさいということでした。15歳以上については、今までと同じようにランダムに抽出し、ゆとりを持ってアンケートを行いました。回収率はちょっと低くなりました。小中学生は、学校にお願いして、うまく町内均等に分かれる感じで、学年別にお願いした関係で、回収率が高い結果になりましたので、ご理解のほどお願いいたします。

【委員長】 小中学校については、今、ご説明いただいたとおり、また、数字のほうもいいですが、15歳以上については、回収率等が低いような感じを受けます。

次に進めさせていただきます。

【委員長】 では、次の項目に行きたいと思います。第3期計画の取り組み等について事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局】 第3期計画で取り組む事について説明いたします。

資料1の10ページをご覧ください。ここには、計画の基本理念と基本目標があります。第3期計画での変更点は、中ほどの2の基本目標3つのうち、健康寿命の延伸を一番上にした事です。先程も説明したとおり、県や国でも健康寿命を延ばす取り組みが大きく取り上げられており、健康寿命を延ばすことは、生活習慣に起因する疾病の予防と改善が重要で、そこにまた未病の概念を加えて取り組むことを目標にいたします。

11ページをご覧ください。ここでは、(1)の5番目、⑤に「自分の健康状態の見える化」を追加しました。生活習慣の改善や定期健診の受診につながるように、意識づけを推進していきます。また、13ページの計画推進の為の役割として、①の自分の所に、ページは次になりますが、14ページの計画づくりの基本計画にも「自分の健康状態の見える化」に努めるということを追加いたしました。15ページには、もう一つ「歯・口腔」の分野の部分で、目指す姿に6024を追加しました。これは、80歳で20本の自分の歯を残すという運動をさらに進める考え方で、60歳で24本の自分の歯を残そうというものです。今回のアンケート結果からも、65歳以上になると、急激に自分の歯がなくなるという課題が見えてきました。かかりつけ歯科医を持って、定期的に受診し、歯周疾患の予防や治療の勧奨に努めていきたいと思っております。

次に、38ページをご覧ください。ここから最後の61ページまでは、ライフステージ別の課題と取り組みになっております。まず、ライフス

ページの幼年期です。幼年期は、子どもの成長の為に必要な睡眠時間をとる為に、22時以降に就寝している子どもの割合を減らしていきます。2歳で虫歯のない子どもを増やすという指標も追加しました。これは、第2期計画で、3歳で虫歯のない子どもの割合を引き上げる為に施策を打ってきましたが、達成できなかったため、その前の2歳の段階から保護者に働きかける為の施策として行います。自分、家庭の取り組みの枠の休養の所ですが、39ページになりますが、夜9時には子どもを寝かせる、「歯・口腔の健康」に、歯磨き習慣をつける為に、大人が仕上げ磨きをする、「疾病予防・健康管理」に、見える化の最初の取り組みとなる母子健康手帳の活用、母子アプリの活用で、子どもの成長の見える化を追加しました。目標値の設定の考え方ですが、目標値を今回達成した項目は、5年間の伸び率を参考に、3年後の値を設定しました。達成していなかった項目については、第2期計画の目標値を設定しました。新しい目標は、アンケート結果、県のかながわ健康プラン21などを参考に設定しました。

次に、40ページ、41ページをご覧ください。これは、幼年期のライフステージの中で、地域住民、団体、行政の取り組みを表にしたものです。各推進委員さんから提出していただいたものをもとに、掲載しております。30年度からの予定なので、今後の変更も十分に考えられます。そうした場合、もし、修正などあった場合には、その都度変えていきたいと思っております。この構成については、この後の全部のライフステージに共通するものです。

次に、42ページ、少年期に移ります。申しわけございませんが、42ページから45ページ上の表題ですが、「第1章 分野に合わせた健康づくり」ということで、括弧書きの所が間違っていて、「(幼年期)」となっておりますが、「(少年期)」に変更をお願いいたします。42ページ、43ページ、44ページ、45ページが、「(幼年期)」と書いてある所も「(少年期)」に、変更をお願いいたします。

少年期は、「栄養」の分野で、早寝、早起き、朝御飯を進めて、学力、体力向上を推進する為、朝食を食べない子どもを減らす取り組みを継続して推進したいと思います。「歯の健康にまったく関心がない割合」を減らすという項目を追加いたしました。歯の健康というのは、ライフステージどこでも関係する所ですので、小さい頃から意識づけを推進してまいりたいと思っております。

次に、46ページの青年期です。こちらも、同じように、上の部分、見開きで左の上の所を「(青年期)」に変更してください。他に見開きの

ページ左の上文字が消えているので、「第1章 分野に合わせた健康づくり（青年期）」と入れてください。47ページと49ページも同様にお願いいたします。

青年期ですが、壮年期、中年期に向けて、肥満予防や子どもの欠食防止の為に、朝食の欠食率を減らすということは課題になるかと思えます。あわせて、外食をすることが多くなる年代ですので、外食の際のカロリーや栄養成分などを配慮して選ぶことが課題となります。自分と家庭の取り組みの枠の中で、「食育・栄養」ですが、大切なのが、主食、主菜、副菜を基本に、1日2回以上食べること、また、「疾病予防・健康管理」では、見える化の取り組みとなる健康手帳の活用を入れました。また、この世代頃から、サプリメントを活用することもあると思えますので、かかりつけの薬剤師を持って、相談することも追加いたしました。

50ページの壮年期です。壮年期は、子育て世代が朝食を食べないことが多いと、子どもの朝食欠食への影響が多いと考えられる為、やはりこちらでも朝食を食べることは大切ということで、朝食を食べない割合を減らすように設定しております。外食の際には、カロリーや栄養成分などを配慮して選ぶことが必要にもなってきます。壮年期の見える化の所では、「休養・こころの健康」の枠に「ストレスチェックなどを利用して、こころの健康度を見える化する」を追加いたしました。

次に、54ページの中年期です。中年期は、生活習慣病の原因になる肥満の割合が増加するのが課題です。年代別になっていた指標を、40代と50代に分かれていたものを、県の健康プラン21を参考に、男女別だけで、今後見るようにいたしたいと思えます。この年代では歯周病が増加して、悪化することに伴って、高年期に入ると、歯を失ってしまうことが課題です。その前の段階で食いとめられるように意識づけをする為に、「55歳～64歳で24本以上の自分の歯がある割合」を追加しました。先ほどの6024の部分です。

55ページの自分と家庭の取り組みの枠の中では、「歯・口腔の健康」の所に、口腔のフレイル予防の為に、口腔機能を維持、向上する為に健口体操を行うということを1番に挙げ、かかりつけ歯科医を持つことと、途中で治療をやめないということを追加しました。先ほど出てきたフレイルですが、機能低下のことを指します。「疾病予防・健康管理」の所に、見える化の為に健康手帳の活用、検査値の記録などをして変化を把握する、自分の健康状況を確認できるようにする、それから、かかりつけ薬剤師を持って、活用するということが追加しました。自分と家庭の取り組みの枠の「口腔の健康」の所では、かかりつけ歯科医を持ち、

定期健診を受ける、口腔内の疾患は最後まで治療するを追加しました。

最後に58ページの高年期です。高年期の目標には、機能低下、フレイルの予防が課題となる為、今まで見ていたのは肥満でしたが、近年では栄養不足による高齢者の痩せが、寝たきりなどの原因になる低栄養、「やせの割合」を減らす事と、「75歳～84歳で20本以上自分の歯がある割合」という、8020を前面に出して追加しました。歯がなくなって、食べるものが偏り、低栄養を起こさない為に、自分と家庭の取り組みの枠の「歯・口腔の健康」に、かかりつけ歯科医を持ち、定期健診を受ける、口腔内の疾患は、最後まで治療をすることを追加しました。また、「疾病予防、健康管理」に、見える化の為の健康手帳への記録と検査値の変化を把握する、かかりつけ薬剤師を持って、活用するを追加いたしました。

昨日、実は薬剤師会の先生の講演を聴く機会があり、かかりつけ薬剤師という制度ができたのは、つい一、二年前ですが、かかりつけ薬剤師を持つと、24時間対応もしていただけるという事でしたので、これから在宅で療養をする方が増える中では、とてもいい制度ではないかと思いました。

【委員長】 第3期計画での取り組みについて、ご説明いただきました。委員の皆様のご意見、ご質問などが貴重でございますので、ぜひよろしく願いいたします。

【委員】 年齢別の所というよりも、心の見える化というお話がありますが、具体的に、自分の中の指標で心の見える化というものをどのように捉えていっていいのかというのがわかりにくかったので、具体的にお話してください。

【事務局】 心の見える化、自分でとても疲れているとか、何かもやもやしたものがあつた時に、そういうアプリがありまして、それを一つ一つ質問に答えていくと、今、自分がどんな心の状態か結果が出てくるものです。それを見て、自分がこの時にはこういう仕事をしていて、こんな状態だったというのが、定期的にやると見えてくるものになっています。

【委員長】 ありがとうございます。今のアプリは、心の見える化で検索すれば、たどれるのですか。

【事務局】 心のチェックリストだったと思います。

【委員長】 先ほどもありましたけど、かかりつけ薬局というのは、よくコマーシャルとかでも見聞きしてきましたが、かかりつけ薬剤師という、かかりつけ薬局の中の薬剤師さん、AさんとかBさんとかという

ようなイメージで、かかりつけ薬剤師というようなことでしょうか。

【委員】 かかりつけ薬剤師は、薬局の中にいる薬剤師が、かかりつけ薬局を持ち、その中にかかりつけ薬剤師、自分はこの人に診てもらいたいというのであれば、契約もするし、契約してない薬剤師でも、自分があの人と、かかりつけ薬剤師を持ちますという事を言えば、薬剤師はいつでも相談に応じ、24時間、電話でも受け付けるようにしておりますので、特にこれから在宅とか、薬の飲み方一つ悩んだ時でも、薬剤師を活用してほしいという、普及推進をしていますので、今回元気プランに入れていただけたのは、薬剤師会としてはとても嬉しいと思います。

【委員長】 私は初めて聞く内容で、大変参考になりました。一応この素案については、以上3点、事務局の方からご説明をしていただいて、ご質問、ご意見をいただきました。ありがとうございます。

それでは、4の議題の(2)その他に移らせていただきたいと思います。これも、事務局のほうからのお願いですが、これについては、前回ご質問もあった内容も触れて、よろしく願いいたします。

【事務局】 前回、1回目の委員会で、町の自殺者数についてご質問がありました。そちら、調べました。自殺者数、平成26年度は8人、男性7人、女性1人です。平成27年度が9人、男性8人、女性1人です。28年度は4人です。男性2人、女性2人です。自殺される方は、20代から80代の方まで、同居されている方もありますし、おひとり暮らしの方もあります。勤めている方と無職の方、比べても、変わりはないですが、無職の方のほうが若干多い統計になっております。統計の種類にもよりますが、町の自殺者数は年間10名弱で、自殺未遂の方は、実際にお亡くなりになった方の10倍以上いると言われております。これは、町民窓口課のデータから引用させていただきました。

【委員長】 その他について、続いてお願いいたします。

【事務局】 お配りしましたA5判の小さなチラシです。白いチラシですが、次回推進委員までの間に、2回調理実習を行いますので、2枚、ご用意しました。11月29日のヘルシークッキング教室、ライフステージでいいますと、肥満者が多くなる中年期をターゲットにした内容です。2月14日のロコモ予防クッキング、こちらは、高年期、高齢者をターゲットにした内容ですので、会員の方にもぜひお勧めください。

以上です。

【委員長】 ありがとうございます。ほかには大丈夫でしょうか。

【事務局】 今後の素案策定に向けての動きですが、この会議を受けて、庁内の連絡会を開く予定です。その後パブリックコメントを年末ぐ

らに行う予定です。次にそのパブリックコメントでいただいた意見を集約し、1月頃になるかと思いますが、推進委員会を開催し、3月の議会で承認していただく予定です。

【委員】 A3の資料は、説明がないのでしょうか。

【委員長】 A3の資料について、説明をお願いいたします。

【事務局】 A3資料は指標実績値比較表です。これは、幼年期から高年期までの第2期計画の指標にしていたものを、まとめたものです。資料の6ページから9ページまでの表を、こちらに全部まとめて示したものです。

この評価は、右に評価で、A、B、C、Dが書いてある所ですが、そのすぐ左側の増減の数値をもって、Aランクの場合には目標値に達した、Bランクの場合には目標値に達していないが改善傾向にある、Cはやや後退している、Dが悪化しているという評価をした一覧です。

【事務局】 補足します。指標については、増やすものと減らすものがございしますので、その辺を踏まえて、偏差値というか、目標に向かって、上に進むような形に置きかえた形で評価しております。30%に減らすとか、50%に増やすとかいろいろばらつきがございしますので、全て目標に向かっていくような指標に置きかえて評価しておりますので、ご了承ください。

【委員】 参考までですが、はっきりした記憶ではありませんが、深夜番組で、平均寿命の話が出まして、長野県が特に一番どん尻だったと。何とか平均寿命、健康寿命を上げようということで、ご承知のとおり、平均寿命に大きく関与するのが塩分だそうです。長野県は、それに対して、県を挙げて各家庭に入り込んで、例えばみそ汁一つにしても、塩分がどうなのかということまで指導に徹底して入ったということで、その番組が6月頃ありました。その時点で28年度はトップに平均寿命が延びたと。また、それに伴って健康寿命も延びているという内容だったと記憶しているのですが、このような面から食育は、栄養だとかバランス、いろいろありますが、塩分という問題も一つ取り上げてもいいのかなと思います。参考までにご検討いただければありがたいなと思います。

【委員長】 大変にありがとうございます。いかがでしょうか。

【事務局】 ライフステージ別の料理教室を年間5回開催しております。寒川町食生活改善推進団体の会長の三輪さんがいらっしゃいますが、料理教室では、必ず塩分は、1回の食事で3グラム未満にしており、家庭まで入り込むのは行っておりません。他の事業では、おみそ汁の塩分測定を行っています。町で行う料理教室の他に、食生活改善推進団体

でも何回か料理教室を町内でも行っており、減塩に対しては、食生活改善推進団体も推進しているので、今後も取り組みは続けてまいります。

【事務局】 資料上には塩分を減らす取り組みが出ていませんが、減塩についても触れられるように、本文等で考えていきたいと思えます。

【委員】 県食連としては、各家庭を回って、みそ汁の塩分測定をしようという活動は言われています。ただ、寒食として、茅ヶ崎も、長野県ほど地域に根差していないもので、各家庭に入って、みそ汁を計るのは躊躇いまして、行っておりません。料理教室に参加された人や6月の食育広場には「みそ汁を持ってきてください、計ります」と、声高に叫んでおりますが、みそ汁を持って来てくださらない。みそ汁を持って来る人は、減塩に関心がありますから、非常にいい値なのです。現実、私たち会員が、各家庭に入るのは大変難しく実現できておりませんが、これからの課題と思っております。

【委員】 妊婦さんに対ですが、今の減塩と合わせて、糖尿病などの取り組みについては、何かされているのでしょうか。

【事務局】 妊婦に関しては、父親・母親教室を年に5回、参加者は大体15、16名平均で、開催しております。参加した方には、2日間の自分が食べた食事を記載していただき、それに栄養士がコメントを書いて、お返しします。また、教室の中で、全部で5日間あるうち3日目は、主に栄養の講義で、その時にはご自分のお家のみそ汁を持って来ていただき、塩分測定をしております。また栄養士が大体塩分0.8%のみそ汁を作って、試食していただいています。父親・母親教室に参加される方は、母体が安定した大体6～7カ月、8カ月、9カ月の方もいらしています。もう少し早いうちからのアプローチをしていけたらいいというのが本音ですけれども、まだ出来ていないのが現状です。

【委員長】 私自身も食改のメンバーの一員でもあります。食改勉強させてもらおうと、塩分の重要さというの、岩橋先生やら会長やら、皆さんから教えていただく機会がありますが、先ほど竹田委員から、家庭に入り込んでという長野県のお話がありましたが、どのようにして家庭に入り込むのかというような話もございましたでしょうか。

【委員】 ありましたが、もう一度確認してくるのを忘れました。ちなみに、男女ともに長野県はトップで、男が80.88歳で、女性が87.18歳ですね。神奈川は5番目に、上位のほうに入っていて、男性で80.25歳、女性が86か87歳でしたかね。そんなことで、下位は東北のほうが多く、青森、栃木、茨城、岩手、埼玉、和歌山も入っていました。特に健康寿命を延ばそうとやっていった関係で、平均寿

	<p>命も延びてきたのだろうと、私は理解しました。先ほど県から方針も打ち出されていると聞きましたけれども、具体的にどういう形で入っていたかという、多分担当者がきめ細やかに入っていたのだろうと思いますが、はっきり記憶がございません。</p> <p>【委員長】 またビデオを見て、参考になるような事がありましたら、事務局に教えていただければと思います。</p> <p>【委員】 わかりました。</p> <p>【委員長】 充実した討議が進みました。事務局お願いします。</p> <p>【事務局】 おのこの各家庭に入り込んでいく、3年間では難しいと思いますけど、将来的には一人一人が塩分に気をつけていただくような社会にしたいと思います。先ほど出てきました、見える化という部分で、ご自分で意識するというのが一番大事だと思いますので、それに向かった啓発活動等は充実していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>【委員長】 次第の5、閉会でございます。最後に、石井副委員長から締めのお言葉をお願いします。</p> <p>【副委員長】 議事が、皆様のご協力により終了いたしましたことをお礼申し上げます。</p> <p>これをもちまして、平成29年度第2回さむかわ元気プラン推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 第3期計画素案</p> <p>資料2 アンケート結果</p> <p>資料3 評価実績値比較表</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>小島敦委員 三浦千賀子委員 (平成30年1月4日確定)</p>